



富士市立小・中学校

新しい学校づくり通信

Vol.7

令和8年6月17日発行 富士市教育委員会 学校適正配置推進室

富士市の小・中学生の人数は年々減少していて、平成27年が21,391人、令和2年が19,932人でしたが、令和8年は17,250人となり、当初想定していたペースを上回るスピードで減少しています。

＜ 参考に、次ページの「令和8年 中学校区別児童生徒数推移」をご覧ください。 ＞

こうした中、教育委員会では、小・中学校の適正規模・適正配置の在り方を検討するとともに、小中一貫教育を推進し、教育の質のさらなる充実を図るため、教育総務課内に『**学校適正配置推進室**』を設置しました。

「新しい学校づくり通信」では、学校再編に関する様々な情報を、学校・保護者・地区の皆さまなどに随時お知らせしますので、“**未来の学校のカタチ**”を、一緒に考えていただけると幸いです。

どうなる学校？どうする学校？



少子化が進んでいくと学級数が減少し、小規模校や単学級（1学年に1学級）のある学校が増加していくことが予想されます。そこで今回は、**大規模校・小規模校のメリット・デメリット**についてご紹介します。

	メリット	デメリット
大規模校	・クラス替えを行うことができ、児童生徒の人間関係が広がる ・お互いに切磋琢磨しあう機会が増える ・多様なものの見方や考え方に触れる機会が増える ・クラブ活動や部活動の選択の幅が増える ・教育活動全般において活気が出る	・一人ひとりの活躍の場や機会が減る ・施設の利用に制約が出る ・一人ひとりの個性や行動を把握して、きめ細かな指導を行うことが困難になる 
小規模校	・意見、感想を発表するなど活躍の場や機会が多い ・運動場や体育館、特別教室等の教育機器など余裕をもって使うことができる ・一人ひとりの学習状況や学習内容の定着状況を教員が的確に把握し、きめ細かな指導を行いやすい	・単学級であることが多いため、クラス替えができず人間関係が固定化しやすい ・クラス同士が切磋琢磨し、高めあうような教育活動が行いにくい ・多様なものの見方や考え方に触れることが難しい ・社会性を涵養する機会が乏しい ・クラブ活動や部活動の種類が限定される

今後のスケジュール(予定)

- 「適正規模・適正配置基本方針」の改定(R8.8月)
- 中学校を会場とした中学校区ごとの説明会の開催(R8.10月～11月)※詳細は次号に掲載
- 学校再編計画の策定(R10.3)



編集後記

人は人を浴びて人となる

植物がお日様の光を浴び、恵みの水を浴びて育つように、人は人を浴びて人として成長していくということです。多くの人との出会いから学び育まれる力は、

人として確かな生きる力、
生きぬく力につながっていくもの
と思います。(Sai)

令和8年 中学校区別児童生徒数推移

中学校区	小学校区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小1～中3 計
吉原第一中学校	吉原小学校	40	55	45	52	74	58	73	76	66	62	87	72	200	194	180	1,553
	伝法小学校	59	57	65	60	66	71	74	81	90	85	115	98				
	計	99	112	110	112	140	129	147	157	156	147	202	170				
吉原第二中学校	今泉小学校	36	58	55	54	60	76	64	85	87	87	83	97	175	174	143	1,520
	青葉台小学校	60	69	82	99	92	105	82	101	89	75	95	83				
	計	96	127	137	153	152	181	146	186	176	162	178	180				
吉原第三中学校	原田小学校	24	28	37	36	31	43	38	50	53	53	55	69	127	108	113	939
	吉永第一小学校	28	34	27	39	30	42	41	45	49	50	41	47				
	計	52	62	64	75	61	85	79	95	102	103	96	116				
元吉原中学校	元吉原小学校	19	27	19	33	33	29	28	34	38	40	47	50	37	48	55	377
須津中学校	東小学校	5	3	9	7	4	3	10	5	8	9	6	12	98	96	101	837
	須津小学校	43	41	58	42	57	59	70	79	88	77	94	84				
	計	48	44	67	49	61	62	80	84	96	86	100	96				
大淵中学校	大淵第一小学校（吉原林間含む）	23	28	30	39	36	57	58	60	67	94	88	90	102	103	108	770
	（うち旧大淵第二小学校）	0	2	1	1	0	0	0	2	1	2	0	1				
富士中学校	富士第一小学校	66	87	69	75	81	94	102	98	92	108	103	110	208	190	235	1,768
	富士中央小学校	48	51	64	54	109	60	77	82	98	87	101	77				
	計	114	138	133	129	190	154	179	180	190	195	204	187				
田子浦中学校	田子浦小学校	82	77	94	107	109	95	122	107	115	114	107	91	90	94	82	922
岩松中学校	岩松小学校	57	55	63	78	67	91	52	55	72	73	76	88	164	189	181	1,520
	岩松北小学校	71	60	88	75	95	76	85	98	95	93	104	95				
	計	128	115	151	153	162	167	137	153	167	166	180	183				
富士南中学校	富士第二小学校	87	69	83	77	70	77	84	61	83	85	91	100	236	245	239	2,139
	富士南小学校	136	126	141	126	154	128	150	141	176	134	148	166				
	計	223	195	224	203	224	205	234	202	259	219	239	266				
鷹岡中学校	鷹岡小学校	79	67	72	82	82	99	78	78	97	87	109	89	144	143	157	1,253
	天間小学校	34	27	34	34	26	54	34	48	52	41	46	50				
	計	113	94	106	116	108	153	112	126	149	128	155	139				
岳陽中学校	広見小学校	50	61	65	61	61	75	90	79	93	89	96	92	227	221	254	2,045
	丘小学校	89	105	106	111	115	122	116	114	137	159	140	138				
	計	139	166	171	172	176	197	206	193	230	248	236	230				
吉原北中学校	神戸小学校	23	22	28	38	30	31	27	32	23	35	36	23	99	88	113	755
	吉永第二小学校	4	8	6	7	7	11	13	10	9	12	9	13				
	富士見台小学校	16	16	26	27	30	34	26	30	33	40	43	41				
	計	43	46	60	72	67	76	66	72	65	87	88	77				
富士川第一中学校	富士川第一小学校	18	27	29	24	45	42	36	41	50	57	56	60	45	48	60	453
富士川第二中学校	松野学園小学部	15	26	21	21	33	20	32	38	33	40	44	58	49	57	48	399
合計		1,212	1,284	1,416	1,458	1,597	1,652	1,662	1,728	1,893	1,886	2,020	1,993	2,001	1,998	2,069	17,250

※0～5歳は富士市人口統計(4月1日時点)、小学1年生～中学3年生は学級編制表(5月1日時点学級編制表)より

※桃色部分は、単学級(1学年に1学級)の箇所を示しています。

小中学校児童生徒数 合計17,250人